

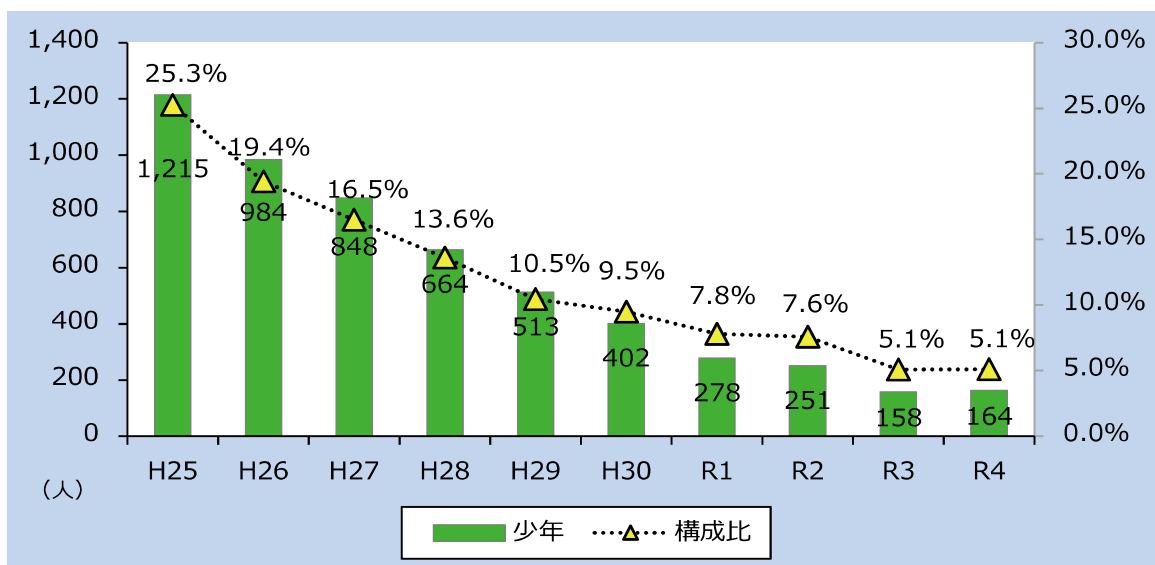
第5 刑法犯少年

POINT !

- 検挙人員は **164** 人（前年比+6人）で**増加**
- 刑法犯少年のおよそ**3人**に**1人**が**窃盗犯**での検挙
- 少年の二セ電話詐欺の検挙人数は14人で、前年から8人（133.3%）**増加**

1 検挙人員、刑法犯総検挙人員に占める少年の割合及び人口比

- 検挙人員は164人で、前年に比べ6人（3.8%）**増加**しました。
- 刑法犯総検挙人員に占める少年の割合（構成比）は5.1%で、前年と同ポイントでした。
- 少年の人口比は1.1人で、前年に比べ0.1人**増加**しました。
また、20歳以上の者の人口比に比べ0.2人**少なくな**っています。



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	前年比	増減率
	刑法犯総検挙人員	4,809	5,068	5,141	4,873	4,909	4,237	3,562	3,311	3,107	3,207	100
少年	1,215	984	848	664	513	402	278	251	158	164	6	3.8%
うち女子	156	96	78	60	50	56	28	29	19	17	-2	-10.5%
20歳以上の者	3,594	4,084	4,293	4,209	4,396	3,835	3,284	3,060	2,949	3,043	94	3.2%
刑法犯総検挙人員に占める少年の割合（構成比）	25.3%	19.4%	16.5%	13.6%	10.5%	9.5%	7.8%	7.6%	5.1%	5.1%	±0P	-
少年人口	173,338	171,241	170,269	169,764	168,631	165,797	162,039	157,886	154,643	153,819	-824	-0.5%
人口比	7.0	5.7	5.0	3.9	3.0	2.4	1.7	1.6	1.0	1.1	0.1P	-
20歳以上の者の人口	2,406,330	2,401,620	2,412,268	2,406,074	2,401,376	2,396,035	2,390,282	2,386,218	2,381,471	2,392,395	10,924	0.5%
人口比	1.5	1.7	1.8	1.7	1.8	1.6	1.4	1.3	1.2	1.3	0.1P	-

注 少年人口については、14～19歳までの人口を合計しました。

2 包括罪種・手口別検挙状況

(1) 推移

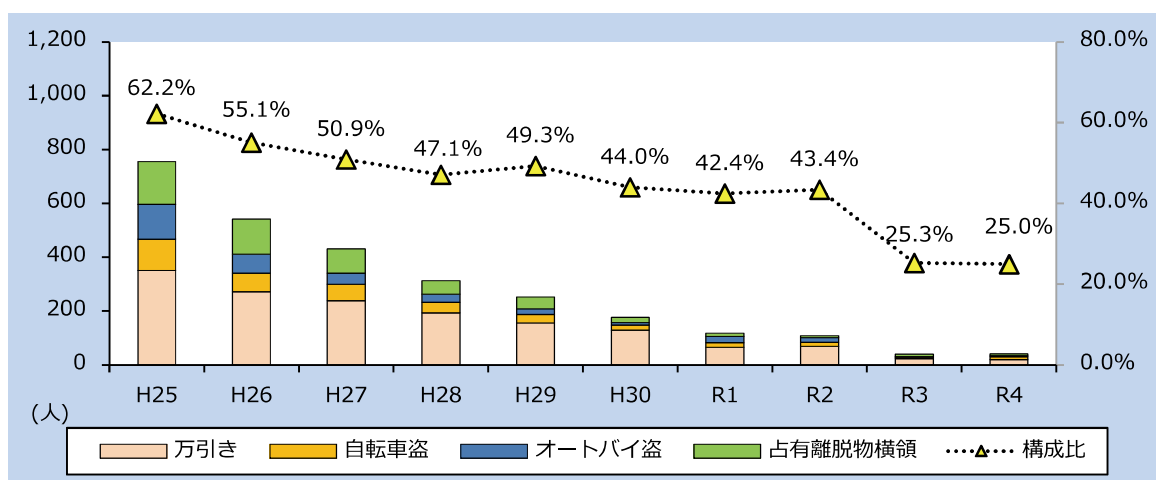
令和4年中は、前年に比べ、凶悪犯が4人(44.4%)、粗暴犯が5人(11.6%)、知能犯が1人(8.3%)増加しましたが、窃盗犯が2人(3.2%)、風俗犯が2人(33.3%)減少しました。

その他の刑法犯は前年と同数でした。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R 2	R3	R4	前年比	増減率
	総数	1,215	984	848	664	513	402	278	251			
凶悪犯	23	13	26	16	11	6	9	14	9	13	4	44.4%
殺人	1	1	1	1	2	2	0	0	1	0	-1	-100.0%
強盗	21	10	22	14	0	1	7	11	6	12	6	100.0%
放火	0	2	1	0	2	0	0	1	0	1	1	-
強制性交等	1	0	2	1	7	3	2	2	2	0	-2	-100.0%
粗暴犯	197	164	165	118	85	83	54	57	43	48	5	11.6%
暴行	54	35	31	22	21	17	20	16	15	18	3	20.0%
傷害	120	102	119	84	54	42	30	36	18	29	11	61.1%
恐喝	21	15	14	10	10	21	4	4	6	1	-5	-83.3%
その他	2	12	1	2	0	3	0	1	4	0	-4	-100.0%
窃盗犯	719	563	474	384	269	225	151	138	62	60	-2	-3.2%
侵入盗	22	42	32	20	18	16	9	11	10	3	-7	-70.0%
空き巣	4	3	6	6	3	10	5	1	5	1	-4	-80.0%
居空き	1	1	2	0	0	2	0	0	0	0	±0	-
出店荒し	3	22	16	2	3	1	0	1	1	0	-1	-100.0%
倉庫荒し	2	4	1	4	0	0	1	6	0	0	±0	-
学校荒し	2	0	2	5	0	0	1	1	0	0	±0	-
その他	10	12	5	3	12	3	2	2	4	2	-2	-50.0%
非侵入盗	430	363	318	271	191	180	100	89	44	44	±0	0.0%
万引き	352	272	239	194	156	130	66	69	24	21	-3	-12.5%
車上ねらい	7	1	5	1	4	0	0	0	2	0	-2	-100.0%
自販機ねらい	10	13	31	18	6	11	4	0	4	3	-1	-25.0%
部品ねらい	16	10	17	7	2	4	3	3	5	0	-5	-100.0%
ひったくり	4	10	0	2	1	5	0	1	0	0	±0	-
置引き	5	10	5	7	4	5	3	1	1	0	-1	-100.0%
その他	36	47	21	42	18	25	24	15	8	20	12	150.0%
乗り物盗	267	158	124	93	60	29	42	38	8	13	5	62.5%
自動車盗	23	18	22	24	7	2	2	5	1	0	-1	-100.0%
オートバイ盗	129	69	41	30	21	9	23	18	1	3	2	200.0%
自転車盗	115	71	61	39	32	18	17	15	6	10	4	66.7%
知能犯	10	21	26	18	33	34	9	6	12	13	1	8.3%
詐欺	9	20	22	16	28	34	9	6	11	12	1	9.1%
その他	1	1	4	2	5	0	0	0	1	1	±0	0.0%
風俗犯	6	10	7	9	11	3	10	7	6	4	-2	-33.3%
強制わいせつ	4	10	7	8	10	3	10	5	3	2	-1	-33.3%
その他	2	0	0	1	1	0	0	2	3	2	-1	-33.3%
その他の刑法犯	260	213	150	119	104	51	45	29	26	26	±0	0.0%
占有離脱物横領	160	130	91	50	44	20	12	7	9	7	-2	-22.2%
住居侵入	28	38	10	31	21	15	19	9	6	2	-4	-66.7%
器物損壊	34	27	23	12	17	3	6	8	7	8	1	14.3%
盗品等	6	9	12	3	8	2	2	2	2	0	-2	-100.0%
その他	32	9	14	23	14	11	6	3	2	9	7	350.0%

(2) 初発型非行の推移

刑法犯少年に占める初発型非行の割合（構成比）は、**減少傾向**にあり、令和4年中は25.0%で前年と比べ0.3ポイント**低下**しました。



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4		
											前年比	増減率
刑法犯少年	1,215	984	848	664	513	402	278	251	158	164	6	3.8%
初発型非行	756	542	432	313	253	177	118	109	40	41	1	2.5%
万引き	352	272	239	194	156	130	66	69	24	21	-3	-12.5%
自転車盗	115	69	61	39	32	18	17	15	6	10	4	66.7%
オートバイ盗	129	71	41	30	21	9	23	18	1	3	2	200.0%
占有離脱物横領	160	130	91	50	44	20	12	7	9	7	-2	-22.2%
刑法犯少年全体に占める初発型非行の割合 (構成比)	62.2%	55.1%	50.9%	47.1%	49.3%	44.0%	42.4%	43.4%	25.3%	25.0%	-0.3P	-

Check!

初発型非行とは？

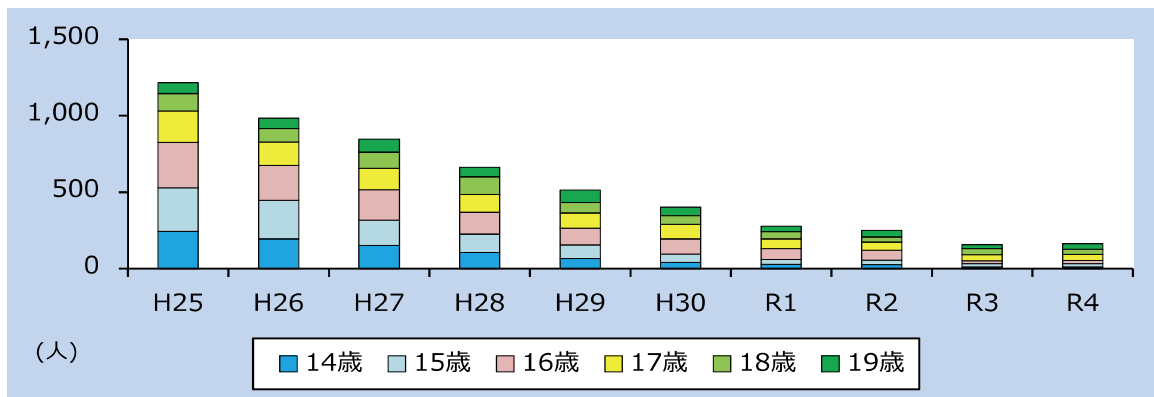
初発型非行とは、**万引き、自転車盗、オートバイ盗及び占有離脱物横領**の4罪種をいいます。

初発型非行は「**遊び型非行**」や「**ゲートウェイ犯罪**」とも呼ばれることもあり、刑法犯少年が統計開始以降最多となった「第3のピーク」期から、刑法犯少年の約6割を占めていましたが、現在は約3割となっています。

しかし、初発型非行は、**動機が単純で、犯行も簡単であり罪の意識のハードルが低い**という特徴があります。犯罪を繰り返すうちに犯罪意識が薄れ、徐々にエスカレートする傾向があるので、決して安易に対応してはいけません。

3 年齢別検挙状況

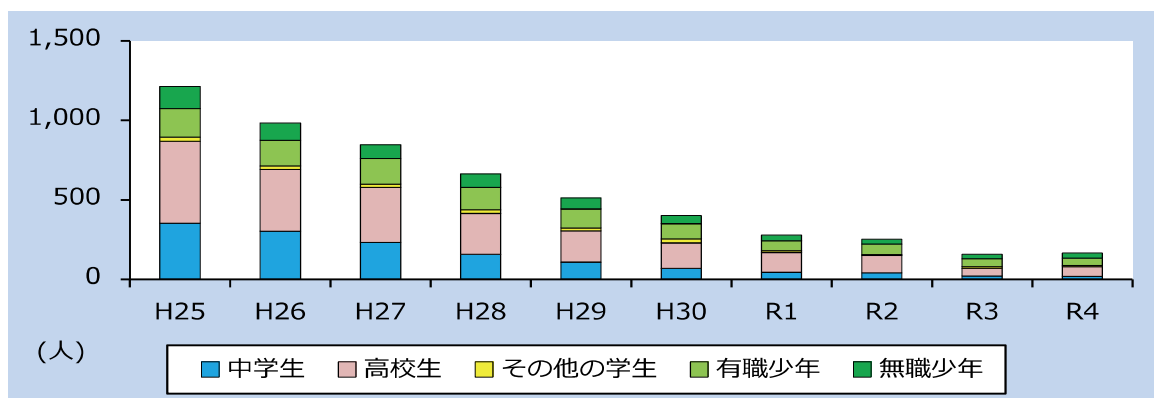
令和4年中は、17歳が38人で最も多く、刑法犯少年の23.2%を占めました。



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R2	R3	R4			
										前年比	増減率	構成比	
総数	1,215	984	848	664	513	402	278	251	158	164	6	3.8%	-
14歳	244	195	152	106	66	41	30	27	11	11	±0	0.0%	6.7%
15歳	285	252	166	121	89	55	31	30	22	23	1	4.5%	14.0%
16歳	298	228	199	143	110	100	69	63	20	21	1	5.0%	12.8%
17歳	205	153	140	114	100	95	66	54	38	38	±0	0.0%	23.2%
18歳	113	87	106	117	68	56	47	34	39	34	-5	-12.8%	20.7%
19歳	70	69	85	63	80	55	35	43	28	37	9	32.1%	22.6%

4 学職別検挙状況

令和4年中は、高校生が59人で最も多く、刑法犯少年の36.0%を占めました。

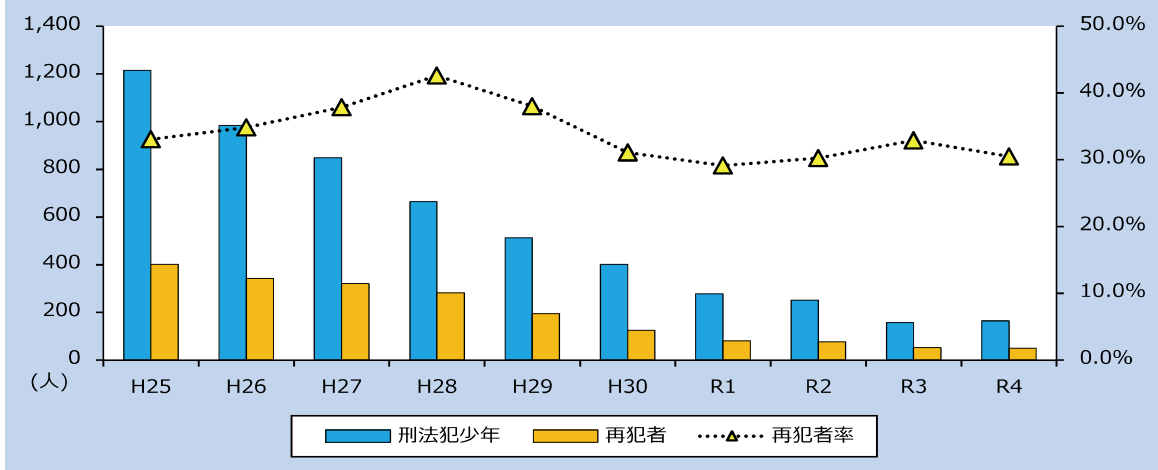


	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R2	R3	R4			
										前年比	増減率	構成比	
総数	1,215	984	848	664	513	402	278	251	158	164	6	3.8%	-
中学生	353	302	233	158	109	69	44	40	22	20	-2	-9.1%	12.2%
高校生	515	391	345	257	195	160	124	109	47	59	12	25.5%	36.0%
その他の学生	26	21	22	22	20	24	11	7	10	8	-2	-20.0%	4.9%
有職少年	180	161	161	141	119	98	64	66	50	46	-4	-8.0%	28.0%
無職少年	141	109	87	86	70	51	35	29	29	31	2	6.9%	18.9%

注：「その他の学生」とは、大学生及び専修学校生等

5 再犯者率

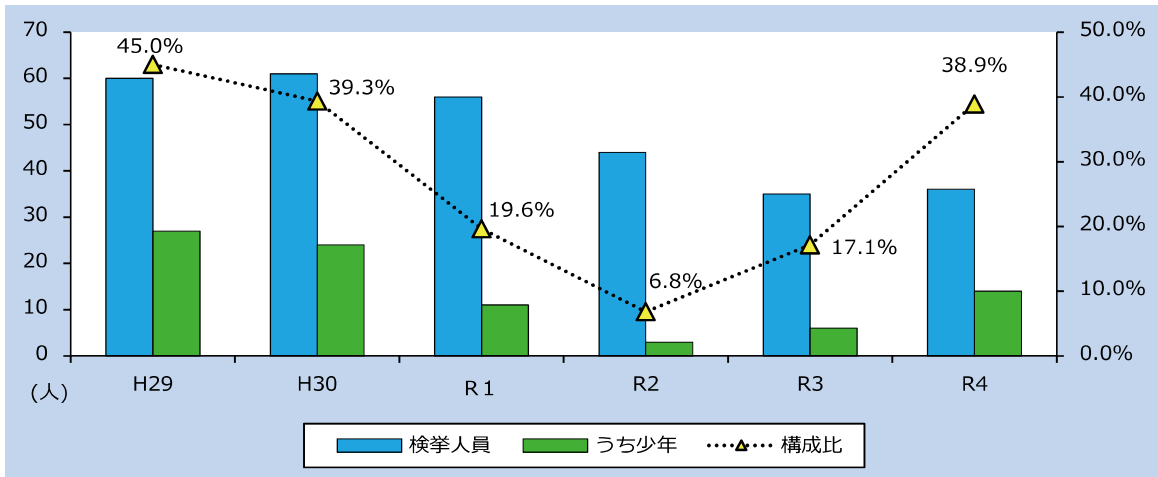
令和4年中、刑法犯少年に占める再犯者数の割合（再犯者率）は30.5%で前年に比べ2.4ポイント**低下**しました。



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	前年比	増減率
	刑法犯少年	1,215	984	848	664	513	402	278	251	158	164	6
再犯者	402	343	321	283	195	125	81	76	52	50	-2	-3.8%
再犯者率	33.1%	34.9%	37.9%	42.6%	38.0%	31.1%	29.1%	30.3%	32.9%	30.5%	-2.4P	-

6 少年のニセ電話詐欺加担状況

令和4年中、ニセ電話詐欺の検挙人員のうち、少年の検挙人員は14人で、検挙人員に占める少年の割合（構成比）は38.9%となっています。



	H29	H30	R1	R2	R3	R4	前年比	増減率
	検挙人員	60	61	56	44	35	36	1
うち少年	27	24	11	3	6	14	8	133.3%
構成比	45.0%	39.3%	19.6%	6.8%	17.1%	38.9%	21.8P	-
認知件数	340	364	376	306	259	254	-5	-1.9%
検挙件数	73	104	157	121	98	68	-30	-30.6%